

利用・用途・応用分野

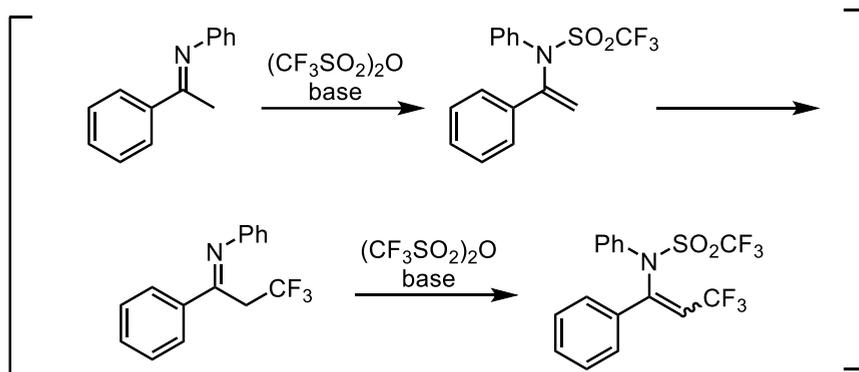
医薬品分野、農薬分野、医農薬中間体、液晶材料の原料

目的・課題

農薬の5割はフッ素化合物であり、スルホンアミド化合物は、除草剤、殺菌剤に広く使用されている化合物である。これまで合成方法が確立していなかった、ペルフルオロアルキル置換ビニルペルフルオロアルカンスルホニルアミド等のフルオロアルキル置換ビニルフルオロアルカンスルホニルアミドの製造方法を提供することを課題とする。

解決ポイント

イミン又はN-フルオロアルキルスルホニルエナミンに対して、1モル当量を超えるフルオロアルキルスルホン酸無水物、及びイミン又はN-フルオロアルキルスルホニルエナミンに対して、1モル当量を超える塩基の存在下で、ラジカル開始剤を作用させることにより、フルオロアルキル置換ビニルフルオロアルカンスルホニルアミドを製造できることを見出した。



研究概要・アピールポイント

- ◆フルオロアルキル置換ビニルフルオロアルカンスルホニルアミドは医農薬中間体や液晶材料となり得る。
- ◆本手法は、イミンからワンポッドで3段階の反応を一挙に進行させることができる。
- ◆本発明の製造方法により様々なフルオロアルキル置換ビニルフルオロアルカンスルホニルアミドを製造することができる。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp